



4 April

みんなの
声の
たのしみ

安達峰一郎記念保育所入所式

やまのべ ぎかい

YAMANOBE Assembly Letter だより

- 第1回定例会 町の総合戦略 2P
- 一般質問 町はどうする? 9P
- 議会報告会・出前議会開催のお知らせ 20P

発行/山形県山辺町議会 編集/広報常任委員会
Eメール: gikai@town.yamanobe.yamagata.jp



〒990-0392 山形県東村山郡山辺町緑ヶ丘5番地 TEL.023-667-1117 FAX.023-667-1118

YAMANOBE だより

2016年4月号 VOL.92

出前議会ははじめます!

NEW

まちづくりについて議員と話し合ってみませんか。



開催期間は
6月~7月
希望日の
14日前までに
お申し込みください

いろんなアイデア、お聞かせください。ご指定いただいた会場にこちらから伺いますので、ぜひお申し込みください。

対象 会社・グループ・地域の集まり・
子供育成会などの団体単位
お問い合わせ・
お申し込み 議会事務局
☎023-667-1117

第6回議会報告会開催のお知らせ

未来を話す会

まちづくりは、
ちょっとしたアイデアから生まれます!

日時: 5月21日(土) 夜7時~
会場: 中央公民館(2F和室)

今年も議会報告会を開催します。今回は、特定のテーマは決めず、みんなで山辺の未来について話してみませんか。ぜひ、皆さまのご参加をお待ちしております。

表紙の説明



4月4日、安達峰一郎記念保育所の入所式が開かれ、平成28年度は0歳児から5歳児までの131名が入所しました。
春の雨が降る朝でしたが、大きい園児たちは名前を呼ばれると元気よく手を上げて返事をし、時おり後ろを振り返っては、誇らしげにパパやママに手を振る姿に、会場は笑顔に包まれました。
式の最後は先生やおともだちと一緒に、楽しそうにからだを動かしながら「ちゅうりつぷ」を全員で歌いました。
いっぱい食べて、遊んで、抱っこしてもらって、健やかに大きくなつてね。

編集後記

「よろしくお願ひします。」
「ありがとう。」
「ありがとうございます。」
という言葉が、たくさん聞こえる4月。
新しいスタート、新しい出会いに心も弾みます。
子どもも大人も、新しいことへのチャレンジの季節。
野山も畑も田んぼも、力強く息吹き始めています。
「ありがとう。」
という言葉をたくさん聞くと幸せが来るといいます。
街にも、もつともつと明るくありがとうの音が響きあうことを願っています。

武田啓一郎記

- 発行責任者 鍋倉 竹志
- 議長 鍋倉 竹志
- 広報常任委員会
- 委員長 遠藤 真由美
- 副委員長 渡辺 昭彦
- 委員 齊藤 昭彦
- 委員 武田 啓一郎
- 委員 渡邊 裕二
- 委員 安達 春彦

町ホームページから、議会だよりが閲覧できます。

<http://www.town.yamanobe.yamagata.jp/>



総合戦略

平成28年度 予算総額

子どもと育つ町

99億9780万円 **可決**

3月
定例会
3/1~3/11

子育て支援医療事業

中学3年生までの医療費自己負担分を給付

6684万円



山辺中学校改築事業

クラブハウス2棟、トイレ、
グラウンド照明移設

8206万円



農林水産物産地 ブランディング向上 支援事業

生産者グループなどでのさ
くらんぼやリンゴの新たな
出荷箱、チラシ作成に補助

100万円



町営南風園住宅整備事業

高齢者と子育て世代の住まいづくり



2億242万円

今年度の 主な 重点事業

常備消防活動事業

山形市に消防救急業務を委託



1億9565万円

都市公園整備事業

中央公園の遊具、施設をリニューアル



5570万円

平成28年度会計別予算明細表

会計名	本年度予算額	前年度予算額	前年度比(%)
一般会計	59億6948万円	58億4749万円	2.1
特別会計			
国民健康保険	17億4059万円	17億4350万円	△0.2
簡易水道等	1727万円	1837万円	△6.0
公共下水道事業	5億6149万円	4億8254万円	16.4
介護保険	15億6637万円	15億2824万円	2.5
後期高齢者医療	1億4260万円	1億4149万円	0.8
特別会計合計	40億2832万円	39億1416万円	2.9
総合計	99億9780万円	97億6165万円	2.4

町の債務(借金)残高

27年度末残高	町民一人当たり
100億6585万円	約69万円

(平成28年3月31日現在)

担い手育成支援事業

青年就農や青年農業者、認定農業者を支援

1273万円



公民館施設整備

大寺公民館屋根や
近江公民館駐車場を補修

626万円



定例会のあらまし

第1回定例会が、3月1日から11日までの11日間の会期で開催され、ニット議会では8人の議員が一般質問を行いました。初日は、動議提出を受け、発議第1号鍋倉竹志議長に対する議長職辞任勧告についてを議題とし、賛成少数で否決しました。町長より28年度の一般会計および特別会計の予算説明を受け、行政不服審査法の施行に伴う関係条例の整理に関する条例の制定などが提案され、予算案を特別委員会に付託し、17議案を全会一致で可決、ほか、3議案を賛成多数で可決しました。最終日は、予算案を可決後、追加議案が上程され、平成28年3月31日で任期満了となる多田源四郎副町長の退任に伴い、新たに清野康隆氏の任命を全会一致で同意しました。

新規&継続事業



▷各企業の事業拡大を応援 **NEW**

各企業の雇用拡大や後継者づくりに対する補助



250万円

▷町職員に人事評価制度を導入 **NEW**

円滑な導入に向けての委託費



350万円

▷通学路にLED防犯灯を設置

中学校から三河尻までの道路に新たに設置



108万円

▷空き家の調査・航空写真撮影 **NEW**

空き家対策特別措置法に伴う調査



919万円

▷南風園のリニューアル **NEW**

3階建て集合住宅を1棟新築



2億242万円

▷やまがた技能五輪を開催 **NEW**

山辺町も競技会場に指定。積極的なおもてなしPRを



2016山形大会 技王マスコットキャラクター (わかぶ)

824万円

▷山形市消防本部の強化

消防職員の増員や訓練塔工事、高規格救急車の更新



1億9565万円

▷山辺高校教育振興会を支援 **議会提案**

補助金増額で、地域に根ざした活動を充実



50万円

▷婚活支援事業の推進 **NEW 議会提案**

支援員の仲介で結婚し町民になると支援員に10万円の成婚報奨金(支援員の登録募集)



30万円

▷長沼公園・緑ヶ丘3号公園整備 **NEW**

防災機能を備え、子どもからお年寄りまで安らげる場に



9878万円

もっと 町を良くするために!

議案審議

主な条例改正

- 地域開放のための山辺中学校施設使用料が追加されました
視聴覚室(階段教室)・体育館……1,050円/4時間
※冬期間(12月~3月)は、
体育館の暖房料として500円/1時間を追加
- 山辺町一般職員の給与を見直しました
社会情勢にあわせ、人事院及び山形県人事委員会の勧告による給与の増額改正



子ども会や映画上映にも使える階段教室

主な議決

- 中辺地総合整備計画を変更します
烏海山頂周辺の観光整備のため
- 玉虫沼農村公園(ラベンダー園)の指定管理者が決まりました
名称:内外緑化 株式会社
期間:平成28年4月1日~平成31年3月31日



ラベンダー園のさらなる誘客を期待

その他、

- 山辺町行政不服審査会条例
- やまのペコミュニティバスの指定管理者の指定
- 山辺町副町長選任の同意

などの議案を審議しました。



可決

賛成

人事院、県人事委員会の勧告に準じての改正である。給与削減終了は、行革効果を考察しての判断だと理解する。
(武田啓一郎)

反対

給料の支給額の附則の定めのない、本条例案には反対します。寒河江市、朝日町、河北町では減額の継続案となっている。
(佐藤保明)

賛成

反対

討論

山辺町特別職の職員の給与に関する条例

限られた予算を有効に… 予算特別委員会

チェック Q&A

3月1日の本会議において、平成28年度予算案に対し議長を除く全議員で予算特別委員会を設置しました。(委員長 遠藤真由美、副委員長 渡邊裕二) 第1、第2分科会で4日間の審議を行い、3月11日に委員長から総括の報告を受け、本会議において全会一致で採択されました。

総務文教 第1分科会 総務課・政策推進課・税務課・町民生活課 教育委員会教育課・会計課・議会事務局

Q 消防団に対する待遇改善策は。

A 一昨年より装備品の充実を進め、雨カッパと活動服など整備を実施しており、さらに安全作業靴の整備を予定している。
(総務課)

Q 消防事務委託料増額の要因は。

A 平成29年度より西署新設により職員増、高規格救急車更新などにより増額になった。
(総務課)

Q 空き家調査及び航空写真撮影委託料の実施内容は。

A 防犯などの危機管理や空き家バンクに活用する基となるものを作成する。
(税務課)

Q マイナナンバーカードの発行に伴う窓口対応に、混乱が生じる心配は。

A 大勢の方が受け取りに来庁され混乱が発生しないように、受け取り日を指定するなどの配慮を行い、案内している。
(町民生活課)

Q やまのべ温泉指定管理者は平成28年度が現在の指定管理者契約期間最終年度になるが、新たに平成29年度に向けた指定管理の公募は、いつから行うのか。

A 平成27年度中に選定委員会で協議を行う。平成28年度に入ったら1か月の応募を行い12月の定例議会で示す。
(町民生活課)



多様化する災害に備えて充実強化



町内外から温泉通が集まるやまのべ温泉

厚生産業 第2分科会 建設課・農業委員会・産業課 保健福祉課・町民生活課

Q 今秋開催される技能五輪を、地方創成に位置付けているが、どのように関連付けていくのか。

A 多くの選手や関係者が来町すると思われるので、山辺の持つ高品質の物づくりを充分にアピールしていきたい。
(産業課)

A 獣害駆除の実施隊で活用する、イノシシ用餌3基分で、町内10カ所ほどを設置場所として考えている。
(産業課)

Q 婚活支援の取り組み強化として結婚支援事業報奨金とあるが内訳は。

A 支援員(昔の仲間さん)を広く募集し、成婚して町内に居住された場合10万円の報奨金を支援員に差し上げる。
(保健福祉課)

Q 高齢化による退職者の増加により、国民健康保険の加入者増加が見込まれるが、今後の運営はどう通しか。

A 結婚・子育てをしたくなる町に者の増加による退職者の増加により、国民健康保険の加入者増加が見込まれるが、今後の運営はどう通しか。



結婚・子育てをしたくなる町に



いまだに入口が崩壊りトンネルの愛宕山すい道

A 平成30年度の県一元化に向け取り組んでいるが、自治体ごとに受診率や保険料の差異があり、まだまだまとまっていない状況である。
(町民生活課)

A 愛宕山登り口から旧中学校のグラウンド地下を通過しているが、入り口部が素掘りの状態なので、補修を行いたい。入り口部以外はコンクリート製で問題はないとのことだが、古くなっているため、適時改修を考えている。
(建設課)

Q 愛宕山すい道の修繕計画の内容は。

A 愛宕山すい道の修繕計画の内容は。


予算特別委員会 重点要望事項

- 犯罪のない安心・安全で明るいまちづくりへのさらなる推進
- 消防団員の確保と自主防災組織率向上による大規模災害に備えた地域力強化
- 納税に対する意識の向上対策による税の公平性保持
- 技能五輪をとおり町のPR強化
- 町内産果樹のブランド化推進と6次産業化の具体化
- 婚活支援員の活動による成婚に期待

町政の一般質問 ここはどうする？

一般質問は、議員が町の行財政や将来に対する考えなどを問い、適切な町政運営を進めているかチェックするものです。山辺町議会では、年4回の定例会で議員が一般質問をしています。

今回は
二ツト議会

 傍聴しませんか 次回の定例会は6月です。お気軽にどうぞ。電話 667-1117 (議会事務局)

3月の定例会では、8人の議員が一般質問を行いました。

- | | | |
|-------|-----------|--|
| 渡邊 裕二 | 危機管理 | 大規模災害時における通信設備不通時の救急体制は町道の排雪場所としての側溝の使用法 |
| 齋藤 邦彦 | 中山間交通 | コミュニティバスの運行に関して |
| 本田四志子 | 障がい者支援 | 「障害者差別解消法」に伴う町の取り組みは |
| 樋口 和男 | 山辺駅改築 | 山辺駅舎・広場に夢と希望のあかしを未来を切り拓く力は、「小中一貫教育」 |
| 安達 春彦 | ファミリー住宅支援 | 人口増に向けた「住まい提供」への取り組みは |
| 遠藤真由美 | 政治教育 | 政治への関心は子どものうちから |
| 渡辺 知広 | 長期計画 | 町の長期的事業・財政の見通しは
体育施設の安全対策は
やまがた技能五輪で、やまのペアピールを |
| 武田啓一郎 | 交通安全 | 交通危険箇所への検証と安全対策を |

※一般質問は、一問一答方式ですが、紙面の関係で主な質問と答弁を要約して掲載しています。

平成27年度 一般・特別会計補正予算

事業確定により補正

(主な事業)

- 社会保障、税番号制度システム整備
152万円…マイナンバー制度によるカード交付などに
- 機構集積協力金交付事業
150万円…中間管理機構へ農地を貸付け、経営転換する農家に対する交付金増
- 山形県住宅リフォーム等総合支援事業
257万円…好評につき増額
- ふるさと納税寄付金
1289万円…町の応援寄付者の増加により
- 住民基本台帳ネットワークシステム事業
250万円…マイナンバー制度による通知カード・個人番号カード負担金増
- 木造住宅耐震改修補助金
△345万円…実績なしのため(事業内容の検討を要する)



身分証明書にもなるマイナンバーカード



100万円寄付者への返礼品

否決

緊急
動議

鍋倉議長に対する
議長辞任勧告について

先般報道された鍋倉議長のカレンダー配布問題は、低額商品といえど、明らかな公職選挙違反行為だ。このよるな中で議長職にとどまり、議事を運営するということは、今回の行為を黙認したこと

なり、軽微な選挙違反は許されると公言するに等しい。町民から厳しい目が向けられている中、町議会の信頼を大きく失墜させた。議長辞任を勧告する。(発議者 渡辺 知広)

反対

司法の判断が示されていない状況であり、議会として静観すべきとの統一見解を出した。もう少し見極めたい。(斉藤 昭彦)

賛成

町民からの信頼を大きく失墜させた。町民の声は、議長の行動は不適切で山辺の恥、先ずはけじめを付けて欲しい。(本田四志子)

コミュニティバスの運行に関して

(町長) 利用促進、運行経費を考慮し、検討する



齋藤 邦彦

質問 コミュニティバス運行の中で、中、作谷沢地区に住む高齢者のために、毎週水曜日に限り、一日デマンドバスに替わり定時定路線バス(100円バス)を、住民サービスの一環として、運行してもらいたい。

答弁 デマンドバス運行開始から、2年半が経過し、コミュニティバス利用管理データも蓄積されつつある。運行計画の検討をする時期でも有り、運行経費も考慮しながら、地域住民の足として利用率が上がるよう検討していく。

質問 デマンドバス運行開始から、地域住民及び利用者の意見を聞いたり、改善した点はあるのか。

答弁 乗務員が直接利用者からの意見を聞く。



水曜日の運行をすべし

質問 広報1月号のコミュニティバスの収支によると、過去3年平均で、運賃収入180万円、運行経費1500万円と記載されているが、定時定路線バスとデマンドバスの比率は。

見や苦情を聞き、毎月の運営状況報告時、打合せを行い町と指定管理者が協議し、共有しているが、今年度は特に無かった。今後も町が設置する「地域公共交通会議」でも協議していく。



予約はフリーダイヤルに

答弁 運賃収入は直近の3年間をみると270万円。定時定路線バスが140万円、約52%、デマンドバスが130万円、約48%。運行経費は、定時定路線バス900万円、約60%、デマンドバス600万円、約40%となっている。

今後は、乗車率の多い、少ない時間帯の運行を考慮し、より利用率促進、経費削減をめざして行く。

質問 デマンドバス予約の際、電話料金受領者負担とし、利用促進に努めるという考え方はないのか。

答弁 近隣市町においても、利用者の予約電話は全て利用者負担としていること、利用者の需要によって運行される趣旨から、予約の電話料金は、利用者負担を原則と考えている。

コミュニティバスは、高齢者などの重要な交通手段であり、今後も利用拡大のため検討して行く。

大規模災害時における通信設備不通時の救急体制は

(町長) 各組織と連携を強め、地域防災力の向上を図る



渡邊 裕二

質問 予想をはるかに超えた大規模な災害によって停電が発生し、119番通報が出来ないために救急車両を手配することが出来ないなどの事案が発生した場合の対処法は。

答弁 大規模災害時には、電気通信事業者により提供される災害時特設公衆電話を避難所に配備するものとしている。これは、避難所施設設停電時にも通信が可能で、回線も規制されず優先的に利用できるという特徴があり、無料で利用できるもので有効に活用できるものである。

また、電気通信事業者による移動電源車の追加配備や、山形市消防本部に属する消防吏員が山辺町災害対策本部



この町の防災力は十分か？

追加配備や、山形市消防本部に属する消防吏員が山辺町災害対策本部

部に参加し、消防救急無線等を介して連絡調整が可能な体制を取っている。

町としても役割と責任を十分認識し、地域防災力の向上に向け鋭意、努力していく。そのためにも消防団、自主防災組織をはじめ地域の皆様との連携が不可欠である。

質問 町道の排雪場所としての側溝の使用方法的に、排雪場所として利用されていると思われる町道側溝の実態把握は。

答弁 道路側溝への雪捨てを行っているところもあるように



開けっ放しの“危険の入り口”

思われるが、下流での雪づまりによる冠水や歩行者や通行車両にとって大変危険であり、万一の際はふたを開けた人の責任も問われる。道路パトロールや町広報紙及びホームページでの掲載により注意喚起と実態把握に努めていく。

山辺駅改築

山辺駅舎・広場に 夢と希望のあかしを

(町長) 皆様のご意見を考慮した基本構想を策定し進めていく



樋口 和男

質問 駅舎を歴史観ある建物にするため、駅舎入口を町指定文化財の旧山辺陣屋玄関のイメージ化したデザインを求めたい。

答弁 情報発信機器を十分感じている。導入機器、情報発信方法、設置スペース、メンテナンスの面など広く検討していく課題であると考えている。

質問 町の観光地や特産物などをPRするため、観光交流センター内にタッチパネル方式による観光案内システムを設置すべきではないか。

答弁 町の中心的な交差点「山辺陣屋」のこども踏まえ、歴史的建築物と調和した町の玄関口にふさわしい景観の形成を促すデザインを検討していく。



平成31年度改築完成予定の羽前山辺駅舎

質問 博士の幼小時代の「立ち像」を建てるべきではないか。

質問 幼小時代の安達峰一郎博士が、小島海山の杉に向かっ「僕もこの大杉のように大きくなってみせる」と誓っている。小島海山の杉に向かっ指をさしている立志の姿を駅玄関などに建てれば、陣屋をくぐる夢と希望に満たした学生たちを勇気付け、新たな観光資源にもなる。

質問 作谷沢小・中一貫教育の成果をあげており、(仮称)作谷沢学園に改め、「施設一体型」の小中一貫教育校にすべきではないか。

答弁 駅前広場は、基本的なレイアウトや機能配置も構想の段階なので「立ち像」を建てる件も含め、今後、幅広い検討が必要と考えている。



小中一貫校としてのぞまれる作谷沢小・中学校

答弁 魅力ある学校づくりを進める上で、一つの選択肢であると考えている。先進校の情報などを収集し、まずは教育委員会での義務教育学校に対する研究に取り組んでいきたいと考えている。

質問 また、(仮称)作谷沢学園を検証しながら近い将来、山辺中学校と山辺・相模・大寺の各小学校を、小中一貫教育を行う「施設分離型」の義務教育校にすることを求めたい。

障がい者支援

「障害者差別解消法」に伴う町の取り組みは

(町長) 今後も、障がいのある方にも優しい町づくりを目指し、きめ細かな配慮に努力する



本田四志子

質問 障がいのある方を差別しない社会にしていけるために「障害者差別解消法」が今年4月1日から施行される。幼稚園、学校教育をはじめ社会教育、企業職場とあらゆる分野が対象となる。今後は、この解消法の施行により、現場ではさまざまな課題も出てくると考えられるがこれに伴う町の取り組みは。

答弁 障がいを理由として正当な理由がなくサービスの提供や入店を拒否したり、条件をつけるような行為が禁止となり、「合理的配慮」を行うことが求められる。具体的な例としては



わかりやすく、やさしい配慮を

・車椅子の方が乗り物に乗り降りする時に手助けをする。
・障がいをお持ちの方が来庁された場合、特性に応じた意思疎通の手段を選択し、筆談することや説明文を読み上げるなどが挙げられる。

質問 障がい者に関する相談コーナーを庁舎1階の一角所で

への合理的配慮は、国の行政機関・地方公共団体などについては法的義務となる。なお、民間事業者については努力義務となる。町の取り組みとしては、これまで広報やお知らせ版に掲載して障害者差別解消法について町民の方々に周知を行っている。



仕事に励む「あおぞら」のみなさん

質問 全ての公共施設に障がい者専用駐車場のスペースを設置し、障害のある方も安心して利用できるようにしてほしい。

答弁 主に保健福祉課が窓口となり受付、他の課に係る内容でもワンストップで済むように職員が出向き応対している。

質問 障がいを持つ児童・生徒が参加する修学旅行の引率者に公費補助を。

答弁 保護者と十分な相談を行い慎重に検討し、実態に応じた対応をしていく。

一般質問

政治への関心は 子どものうちから



遠藤 真由美

(町長) 今後ますます、子ども達の主権者教育を充実させることが重要である

質問 近年選挙における投票率の低下、政治への無関心が社会問題になっていて、今年夏の参議院選挙から年齢を引き下げ、「18歳選挙権」が実現することとなった。未来を担う若者の声をより政治に反映させていくことが期待される。しかし、高校生の段階で、強く世の中に関心を持っていない子どももいれば、政治不信や政治的無気力から、政治に無関心、投票しても何も変わらないという意識もあり、学識者も、小中学校レベルの早い段階からの本質的な政治・選挙教育の必要性を指摘している。町の考えは。

答弁 本県では、山形県進協議会と山形県選挙管理委員会が、高校を訪問して選挙講座や模



議会傍聴をする戸沢村の子どもたち

擬投票を行う「選挙啓発高校生出前講座」に取組み、選挙の仕組みや投票の大切さを学習している。また、小中学校の社会科学習でも、政治への関心を高める指導を行っているが、今後ますます、子どもたちの主権者教育を充実させていくことは大変重要なことと考えている。



若者の投票率を上げることが町の未来につながる

人口増に向けた 「住まい提供」への取り組みは

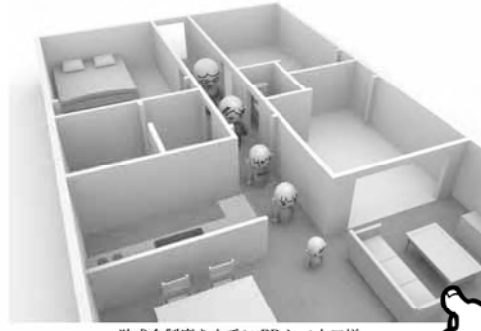
(町長) 関係機関との連携と情報共有を図り、次期総合計画の策定時には町民とも十分に議論し検討する



安達 春彦

質問 山辺町の総人口は、平成7年の15、658人をピークに減少し続け、2060年には10、000人を切るという調査報告になっている。子育て世代の転入者を増やすための「住まい提供」についてはどのように考えているのか。

答弁 町内の民間アパート建築棟数は年々増加しており、町としても今年度に2・3階を子育て家族向けの住宅として設計した「南風園」の建替工事を計画している。また、持ち家建設促進や既存住宅の改修も人口増に向けた住まい提供と考え、「住宅建設等



助成金制度を上手にPRして人口増へ

支援事業」「住宅リフォーム支援事業」を行っている。その他空き家バンクの情報提供

に努めているが、需要に対し空き家の登録件数が低いことが課題となっている。
質問 南風園は素晴らしい取り組みだと思っている。山辺町が本気で子育て世帯を支援していることをアピールするいい機会だと思うが、「情報の発信」に関してはどうよ



子育て世帯を応援する町に

うに考えているのか。

答弁 町のホームページや広報で情報発信を考えている。

質問 先の住宅リフォーム支援事業の実績は、人口増に繋がる支援になったのか。

答弁 平成27年度には112世帯に支援し、そのうち9世帯が三世帯世帯、1世帯が移住世帯であった。

質問 人口の流出が多い尾花沢市の住宅賃貸率は9.3%。一方転入が多い東根市は24.6%、山形市は39.8%。転入者が多い地区ほど高い傾向にある。山辺町に必要なことは、迎え入れる住環境があるという発信ではないだろうか。

答弁 今後、庁内各課や関係機関との連携と情報共有を図りながら、人口減少対策に取り組みたい。

質問 現在、全国各地で「模擬投票」「出前授業」と共に、小中学生の「議会傍聴」や「子ども議会」開催などの取り組みが盛んに行われるようになった。自分たちの意見が直接町に提案でき、1つでも実現できたなら、その体験は地域への誇りに繋がると思う。当町でもできないか。

答弁 2000年の役場開庁プレミアムイベントとして、議

場で町主催の「ふれあい小学生・中学生議会」を開催したことがある。より早い段階の小中学生に対する興味・関心を高めるには「議場見学」や「議会傍聴」などは大変よい実践であるが、「子ども議会」開催は、学校が年々多忙化しており、準備の問題などから実践するには課題も多い。校長会などを通して学校の意見も聞いてみたい。

交通危険箇所の検証と安全対策を



武田啓一郎

(町長) 交差点の危険度緊急性に並び交通安全関係団体と連携して対応していく

【答弁】 事故件数は、ここ5年間、年50件から69件で推移。死亡事故が27年に2件など重傷事故も発生。重大事故現場では、状況報告を含めた現場点検や再発防止検討会が行われ、事故防止対策と

【質問】 町内における重大事故の当事者が町外の方々であったり、事故発生が過去にも同じ場所だったりしている。事故発生現場での掘り下げた検証と対策をすべき。
【答弁】 危険予知が難しい危険な交差点、危険予測力が低くなっている高齢者ドライバーへの配慮、手立てをどうしていくべきか。

【質問】 交差点の異なるX字交差点や危険交差点の改良は、年次計画で取り組むべし、現場での幟旗設置、注意喚起をしている。交通安全に対する意識付けを含め対策を講じていく。

【答弁】 信号機の設置が最も有効だが、多くの要望があるものの山形管内での新設は年数件程度。交差点の視距、見通し改良も有効な手段だが整備費用と時間を要し、現状は極めて難しいと判断している。減速帯の設置や新型の光る看板設置なども検討していく。



危ないと気付いている危険交差点で繰り返される重大交通事故 (27年12月西之表交差点)

き。繰り返し発生している危険交差点などは、もう一歩踏み込んだ新たな手立てが必要では

【質問】 カラフルな色彩デザインが氾濫している今日、道路交通標識の黄色に黒字の十字路交差点の標識は、視認しやすとは思えない。
【答弁】 現実的には、分かりやすく自立補助的な優しい危険予知標識があれば、通行する運転者にとって、有難いと思える。町の優しさ思いやりのイメージづくりとして、関係法令の規定を踏まえた上で、町独自の補助的な予知標識を製作設置して行

【質問】 道路管理者が設置することとされる「山形道路交差点あり」などの警戒標識も設置基準があり、町独自の設置は出来ないこととなるようだが、交差点の危険度の緊急性に並び、路面標示、減速帯の設置による注意喚起など、関係機関と共通認識を持ち検討していく。安全確保のため、交通安全と連携して対応していく。



X字交差点(急角度交差)は町内に多く危険(町道大門四本橋線の鶴田交差点)

町の長期的事業・財政の見通しは

(町長) 厳しい政状況は今後も続く



渡辺 知広

【質問】 第4次総合計画がいよいよあと一年を残すところとなった。現在の事業状況や財政状況をみると、社会情勢の変化や震災の影響もあつたにせよすべての達成はできない。今後の事業展開と次期総合計画にむけて財政問題をどう考えているのか。

【答弁】 第4次総合計画策定時とは社会的、経済的状況が変化しており、すべてが実現できる見込みはない。町の行財政改革大綱に基づき、限られた財源の中で、山辺駅やその周辺整備など、地域の実情やニーズを捉えた事業を実施するとともに、

事務事業の適正化や見直し、財源・資源の捻出を積極的に推進する。また、5億2千万円ふるさとづくり基金についても、用途目的の変更や取り崩しを、議会とも十分に協議しながら変更していく。



早期に活用計画を

【質問】 今年に入ってから武道館において中学生男子が足の指を骨折するという事故があった。競技に起因する事故ならまだしも設備や用具による事故はあつてはならない。まして老朽化や不具合が指摘をされてきたとなればなおさらだ。早急に対策を講じることが考えられるがどうか。

【答弁】 体育施設の安全対策は最も優先

【質問】 町内でも様々な協議が行われるが、フラワー装飾部門
【答弁】 「りんどう」「われもこう」の出荷時期や出荷量を花き生産組合と調整し、競技に適應できるか山形県とも調整をはかりたい。また、和裁・洋裁の競技も町で行われるので、「山形織通」の繊維産業も同時にアピールできないか検討している。



町の花リンドウでアビールを



子どもが小学校に入学し、出会った合唱。やまのべ少年少女合唱団に入団した子ども達が出演した「やまのべ童謡音楽祭」。子どもから大人までが一同に会し、合唱や楽器の演奏など観客、出演者、スタッフと多くの人々が関わることで、きる有意義な行事が今後も続くこ



やまのべ童謡音楽祭
実行委員長
荒川 広幸さん(近江)

童謡のまち、やまのべを 県内外に発信していきたい

私が出発して11年が過ぎた今、思うことは、子ども達の幼稚園選びから今日まで、いろいろな場面で、いろいろな人々と出合い支えられて生活しているということです。この生活の中で、さまざまな行事に対して町民が協力して活動する姿を見るとともに、行事を継続する難しさを聞く機会がありました。

子どもが小学校に入学し、出会った合唱。やまのべ少年少女合唱団に入団した子ども達が出演した「やまのべ童謡音楽祭」。子どもから大人までが一同に会し、合唱や楽器の演奏など観客、出演者、スタッフと多くの人々が関わることで、きる有意義な行事が今後も続くこ



童謡音楽祭でいきいきと歌うやまのべ少年少女合唱団

イベント情報

イベント	場所	期日	内容	問合せ
山形市 日本一さくらんぼ祭り	文翔館前、七日町大通り	6月18日 ～ 6月19日	ダンスやお神輿、マルシェなどさくらんぼ最盛期にちなんだ祭りです	日本一さくらんぼ祭り 実行委員会 TEL 630-2373
山市 スマイルプロジェクト☆かみのやま	山市市民総合運動広場	7月30日	みんなに夢と笑顔を与えるイベント。楽しめる催し物満載で最後は花火	上山青年会議所 TEL 672-7721
中山町 全国かぶと虫相撲大会	中山町総合体育館	7月18日	相撲大会、木のぼりレース、スタンブラリー、ミニSL乗車会	日本カブト虫相撲協会 TEL 662-5777



町の災害情報メールにご登録ください。

防災放送の内容が配信されます。

<https://service.sugumail.com/yamanobe/> (携帯)
<https://service.sugumail.com/yamanobe/member/> (PC)

電話でも内容が確認できます 電話 023-629-0011

新しい町への挑戦

活動報告

地方創生を加速

臨時議会

2月8日と3月28日、臨時議会を開催しました。
決議した議案は次のとおりです。

- 雇用の維持・拡大を目的とした「伝統織産業いきいき活躍プロジェクト」に2千575万円を追加します。
- 「個人町民税」「特別土地保有税」の減免申請において個人番号の記入が不要となります。
- 「介護予防・日常生活支援総合事業」の実施時期を平成29年4月から平成28年3月に早めます。
- 一般会計に5千900万円を追加。内訳は、年金生活者の臨時給付金、低所得の世帯への灯油購入費の助成、山辺温泉保養センターの修繕となります。
- 介護保険会計に32万円を追加。内訳は、介護予防・生活支援サービス事業、介護予防ケアマネジメントの委託となります。

本契約を締結!

30年12月稼働開始を目指して 山形広域環境事務組合



立谷川新施設工事現場

2月17日定例議会が開かれ、新年度予算など16議案を原案通り可決しました。
2カ所で建設を進めるエネルギー回収施設では、立谷川地内分については基礎工事が終了し本体の建築が本格化します。

川口地内分の建設は、共同企業体と事業運営契約を締結しました。
当初計画から長い道のりの事業でしたが、2市2町の住民に信頼され、安全で効率的な完成が期待されます。

鮎洗大橋工区連絡管整備工事完了

最上川中部水道企業団

3月24日、3月定例会の開催前に、山形市見崎浄水場と企業団管内水道施設を視察し、管内約8千700戸に美味しく安全な水道水を供給するために日夜努力されている姿に感銘しました。

山形市上下水道部との整備方針に基づき、2月に完成した鮎洗大橋工区連絡管(201m)を橋の下から見とどけ、水道水供給体制の広域化に半世紀余りの年月を要した過程に、あらためて歴史の重みを感じました。



2月に完成した山形市との接続連絡管(鮎洗大橋)

傍聴しませんか 次回の定例会は6月です。お気軽にどうぞ。電話667-1117(議会事務局)

お願い 議会だより取材のため、議員が撮影に伺うことがありますので、ご理解とご協力をお願い致します。